

【令和5年度】 一般 会計決算の概要

図 財政課 ☎049-257-5163

財政健全化の状況

本市独自基準(財政運営判断指標)

「富士見市健全な財政運営に関する条例」に基づく財政運営判断指標は、下表のとおりです。

財政運営判断指標	令和4年度 決算実績	令和5年度 決算実績	目標値
財政力指数(※1)	0.804	0.784	0.860
経常収支比率(※2)	90.5%	93.9%	90.0%以下
財政調整基金比率(※3)	23.9%	21.7%	15.0%以上
地方債残高比率(※4)	113%	107%	120%以下
債務償還可能年限(※5)	3.8年	4.4年	4.5年以下

- (※1) 財政基盤の強さ。指数が大きいほど財政力が強い
- (※2) 財政構造の弾力性。比率が低いほど弾力性が高い
- (※3) 標準的な1年間の収入(標準財政規模)に対する財政調整基金残高の割合。比率が高いほど貯金が多い
- (※4) 標準財政規模に対する地方債残高の割合。比率が低いほど残高が小さい
- (※5) 負債総額が返済可能な規模になっているかを表す。年数が小さいほど負債が小さい

国基準(健全化判断比率)

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく健全化判断比率は、全ての指標で健全な数値を維持しています。

健全化判断比率	令和5年度 決算実績	早期健全化 基準値
実質赤字比率(※1)	-	12.28%以下
連結実質赤字比率(※2)	-	17.28%以下
実質公債費比率(※3)	3.0%	25.0%以下
将来負担比率(※4)	-	350.0%以下

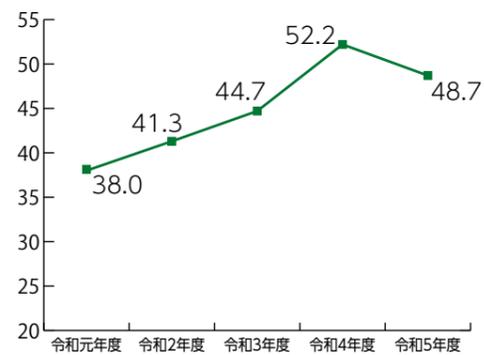
- (※1) 標準財政規模に対する一般会計等(一般会計、鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計、鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計)の実質赤字額の割合。赤字ではない場合は「-」と表記
- (※2) 標準財政規模に対する市の全ての会計の実質赤字額の割合。赤字ではない場合は「-」と表記
- (※3) 標準財政規模に対する一般会計等で負担する借入金の償還金等の割合。比率が小さいほど負債が小さい
- (※4) 標準財政規模に対する一般会計等で将来負担する負債の割合。充当可能財源が将来負担額を上回る場合は「-」と表記

債務と貯金の状況

市の債務 374億円
(市の全会計の債務残高) (前年度比-2億円)



市の貯金 48.7億円
(財政調整基金の残高) (前年度比-3.5億円)

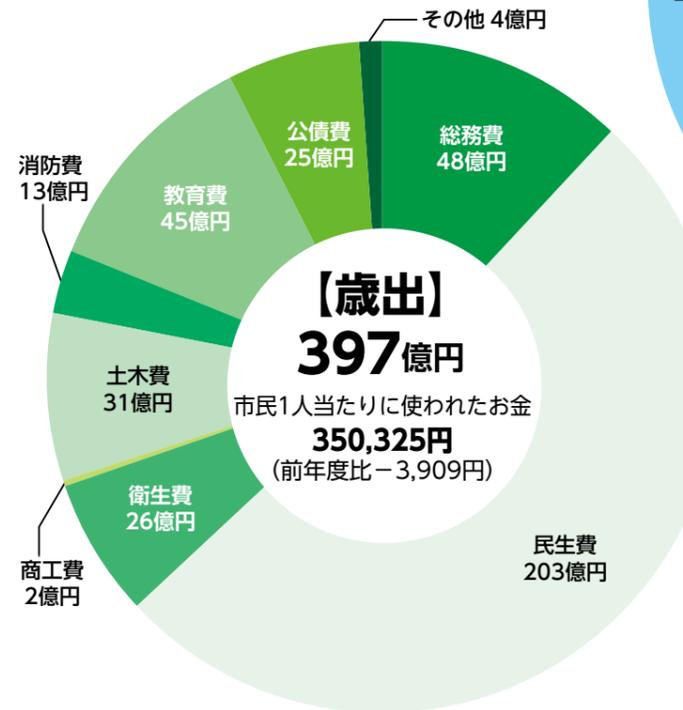
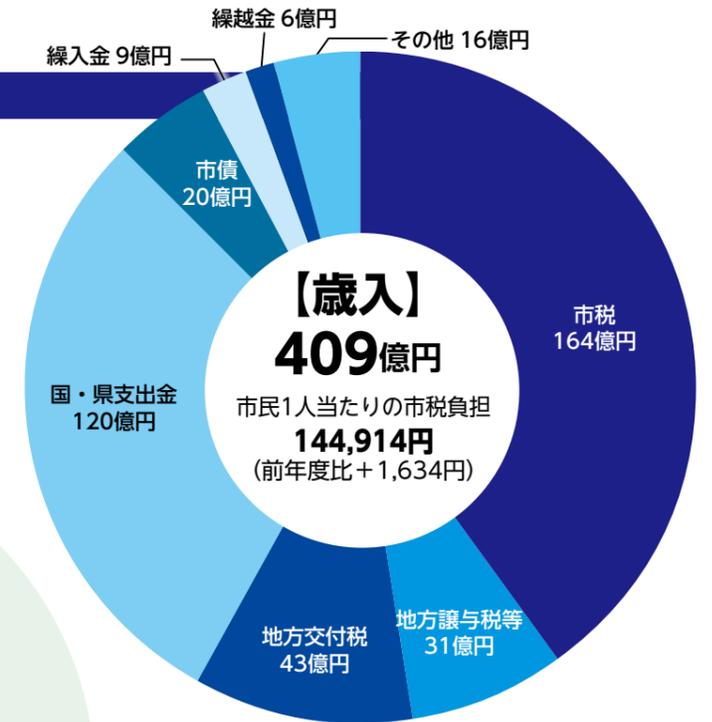


令和5年度の歳入・歳出

歳入(収入)は前年度と比べて2億3,312万1,279円減の409億536万8,812円、歳出(支出)は前年度と比べて3億5,588万3,199円減の397億407万9,680円となりました。翌年度に繰り越す財源を除いた実質収支は、7億8,136万1,939円の黒字となりました。

歳入(収入)の主な特徴

- 市税収入は、個人市民税の増などにより、前年度に比べ2.2億円の増
- 地方交付税は、公立保育所在籍児童数の増加に伴う社会福祉費の増などにより、前年度に比べ3.1億円の増
- 市債は、投資的経費が減少したことにより、前年度に比べ7.9億円の減



歳出(支出)の主な特徴

- 総務費は、公共施設整備基金への積立の減などにより、前年度に比べ7.6億円の減
- 民生費は、管内施設型・地域型保育給付費や障害介護給付費の増などにより、前年度に比べ9.3億円の増
- 土木費は、びん沼自然公園整備工事費や市民緑地「御庵」の用地取得費の皆減などにより、前年度に比べ12.4億円の減

地方消費税交付金(社会保障財源化分)の使いみち

地方消費税交付金のうち社会保障財源化分の14億685万3千円は、次の経費に使用しました。

・ 社会福祉関係(子育て、高齢者福祉など)	8億4,170万1千円
・ 社会保険関係(国民健康保険、介護保険など)	4億9,105万2千円
・ 保健衛生関係(疾病予防、医療体制確保など)	7,410万円

誰もが自分らしく笑顔で暮らすことができる取組み

- 包括的な支援体制の構築 ▶349万円
- 妊婦や子育て世帯への支援 ▶1億7,310万円
- 産後ケア事業の充実 ▶224万円
- STEM教育の推進 ▶1,169万円



小学生ロボコン・富士見市大会



産後ケア事業の様子

物価高騰対策への取組み

- 物価高騰に対する支援 ▶1億2,166万円 (町会 5,406万円、民間保育所など 1,976万円、子ども食堂 136万円、介護保険サービス事業所 3,600万円、障害福祉サービス事業所 302万円、中小企業者 746万円)
- 住民税非課税世帯への給付金の支給 ▶3億2,912万円
- 農業用動力費の価格高騰に対する支援 ▶758万円
- 学校給食の無償化 ▶1億1,425万円

将来を見据えたまちづくりにつながる取組み

- 大御庵の社の整備 ▶895万円
- 市民緑地「諏訪の森」の用地取得 ▶5,207万円



大御庵の社



市民緑地「諏訪の森」

第6次基本構想・第1期基本計画に基づく取組み

- 新庁舎整備の推進 ▶5億2,250万円
- 水谷小学校の校舎増築工事 ▶6億3,319万円
- 保育施設整備工事への補助 ▶2億8,947万円
- 学校給食の充実 ▶6億8,211万円
- 農業者への補助 ▶954万円



幼保連携型認定こども園 泉の森ふじみ

令和5年度に 取り組んだ 主な事業

令和5年度は、市のまちづくりの基本的な方針である第6次基本構想・第1期基本計画の中間年度であり、理想の“未来”である「誰もが自分らしく、充実した日々を送ること」の実現に向け、市民生活の「安心と安全」を守る取組み、誰もが自分らしく笑顔で暮らすことができる取組み、将来を見据えたまちづくりにつながる取組み、富士見市デジタル・トランスフォーメーション (DX) 推進計画に基づく取組み、富士見市ゼロカーボンシティの実現に向けた取組みなどを実施しました。



富士見市総合防災訓練

市民生活の「安心と安全」を守る取組み

- 富士見市総合防災訓練の実施 ▶216万円
- 空家の適正管理 ▶101万円
- 小中学校体育館の空調設備の整備 ▶2億4,470万円

富士見市ゼロカーボンシティの実現に向けた取組み

- 再生可能エネルギーの活用への補助 ▶1,146万円
- 公共施設の省エネ化工事 ▶1,746万円



富士見市デジタル・トランスフォーメーション (DX) 推進計画に基づく取組み

- 書かない窓口の推進 ▶85万円
- 集団がん検診予約のオンライン化 ▶88万円